

病気になると患者さんとそのご家族は、さまざまな苦痛、問題を抱えます。

それは単に痛みなどの身体的な症状だけでなく、不安や落ち込んだ気分などの精神的なつらさ、日々の生活で生じる社会的な問題、そしてスピリチュアルな問題（その人自身の人生や生きる意味など）です。

こうした身体的な苦痛や気持ちのつらさ、経済的な不安などを少しでも早期からサポートし、がん治療が安心して受けられるようにさまざまな専門家が対応しています。

*がん以外の患者さんにも対応しております。



当院に通院・入院中の小児を含む患者さんにご家族の方を対象に対応させていただきます。

まずは治療を担当している医師、病棟・外来の看護師にお気軽にご相談下さい。

もしくは下記問い合わせ先まで直接ご連絡ください。その際には、「パンフレットを見た」とお伝え下さい。



問い合わせ先

高知大学医学部附属病院
がん治療センター／緩和ケアセンター

相談日時：平日 8:30-17:15

電話：088-866-5811
(病院代表)

がん患者さんとご家族の方へ



例えば・・・こんな時にご相談ください

- ◆ 不安や落ち込みなど気持ちのつらさがある
- ◆ 治療について悩んでいる
- ◆ 病気や治療による身体の症状で困っている
- ◆ 薬を使ってもなかなか痛みが和らがない
- ◆ 今後の療養生活について悩んでいる

など

患者さん・ご家族の困りごとについて、**緩和医療科**、**がん看護外来**、**緩和ケアチーム**で対応させていただきます。

● 緩和医療科とは

身体担当・精神担当の医師が、身体や心の痛みなどの症状に対する診療を外来で行います。診療は月曜から金曜まで毎日行っておりますので、ご希望の方は主治医にご相談ください。

● がん看護外来とは

がん看護外来では、患者さんやご家族の不安や困りごとに対して解決の糸口を見つけられるように、専門知識・資格をもった看護師と一緒に考えていきます。主治医や多職種と連携を図りながら、治療や療養生活を支援していきます。

● 緩和ケアチームとは

医師、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカーなどからなる多職種メンバーと、患者さんを担当している主治医や担当看護師が協働して、がんに関連したさまざまな苦痛、問題を和らげます。

アドバンス・ケア・プランニング (ACP) をご存じですか？

もしものときのために・・・

自らが希望する医療やケアを受けるために、あなたが大切にしていることや望んでいること、どこでどのような医療やケアを望むかを自分自身で前もって考え、家族や医療・ケアチーム等と繰り返し話し合い、共有する取り組みを、

「アドバンス・ケア・プランニング (ACP)」と呼びます。

あなたの心身の状態に応じて、主治医等から適切な情報の提供と説明がなされることが重要です。

当院ではACPに取り組んでおります。関心のある方はご相談下さい。

詳しくは厚生労働省のホームページをご参照ください。

